

# SDGsを装いイベント

# 相手にあわせて接近

「統一協会(世界平和統一家庭連合)の勧誘活動や結核的に行ってきたようにな形になり、毎週「一」。この際、このは群馬県内での2000年が達成期限の環境や地球に響く国際連帯SDGs(持続可能な開発目標)に取り組みAさん40代男性です。「注意していた」はすのAさんも書き込まれた統一協会の接近方法とす。

Aさんは、県内のSDG する大学生からAさんに、の活動交流のための「共有サイト」をインターネット上でつなげています。

## 記者の取材呼び

その共有サイトに昨年7月、SDGs推進イベントなどを開いているという団体カレッジサミットを所属する学生を紹介してほしい、というものです。

## 統一協会 徹底追及

Aさんは、イベントを共有サイトで告知。知人の学生Bさんに参加してもらい

## College Summit

for Peace in GUNMA 2022  
Student & Professor

群馬から世界へ!  
養えられるのは「私」と「未来」



7.10 (Sunday)  
500mによるオンライン配信  
14時-開始!

- ★コンテンツ
- 1. SDGsビンゴ
  - 2. 基調講演
  - 3. 学生プレゼン
  - 4. グループセッション

College Summit  
for Peace in GUNMA 2022

【主催】College Summit for Peace in GUNMA 2022 実行委員会

群馬県内で昨年7月に開かれたカレッジサミットのチラシ

# 正体隠し 洗練された宣伝

「統一協会」のイベントは無関係の学生を送り出した。あなたがBさんか協会の「類」のように世間を驚かせてしまったし、格好のターゲットを教えてくださいました。」と悔やみます。

安倍晋三元首相の銃撃事件の2日後であったイベントは、オンラインでも中継されました。しかし、主催者のカレッジサミットの報告は内容が「ぼんやり、Bさんの発言や他の大学から参加した教授ばかりが目撃されました。

このイベントにAさんは違和感を持ちました。「学生がやっているとは思えない」からです。重宝物のデザインが洗練されていることと、オンライン方法、オンラインで使用した機材、マスコミに事前案内を出し、一般紙記者取材と呼んでいたことでした。

その後、Aさんはカレッジサミットが統一協会の関連団体と知り、衝撃を受けました。カレッジサミットの代表は、協会の政治組織である国際連帯連合の学生団体「群馬大学カーン」のメンバーでした。

「統一協会のイベントは無関係の学生を送り出した。あなたがBさんか協会の「類」のように世間を驚かせてしまったし、格好のターゲットを教えてくださいました。」と悔やみます。

## 国連NGO使う

さらにAさんは安倍氏銃撃事件後「YSP(世界平和青年学生連合)も統一協会の関連団体と知り、驚きました。「YSP(群馬)とは昨年春、他の団体と共催でイベントを企画したことがあったからです(企画は新型「コロナ」の感染拡大で中止)。YSPは協会の開祖・文鮮明が設立した団体です。

21年夏、「宗教と関係は」というAさんの問いに、初対面のYSP群馬の代表は否定し、正体を隠していましたが、拾い活動が地元テレビや新聞で紹介されたことや、「国連NGO」に認定されているという代表の説明に魅力を感じたとします。「いま思えば、SDGsを巧みに使った、こちら好み」にあわせて接近したんだな」

Aさんは「統一協会関係者」です。見破れる」と思ったらダメ。他の団体とコラボ共催することで大きく見せ、有名な財団のロゴ拾いグッズを持つなどして「ブランド」作りが巧みだ」と感嘆を繰り返します。